しまいろ

SHIMAIRO

No. 5

2022 spring

小豆島の
高校生たちがつくる
小豆島のための
フリーペーパー

Jump!

島の魅力と産業

道の駅・海の駅 小豆島ふるさと村
カヤック体験！

ふるさと村を出発して500m程離れた無人島（弁天島）で休憩し、その後無人島を一周して帰ってきます。漕いでいるときには魚飛びやスナメリ、イルカなどを見ることもできるそうです。夕方になると夕陽を満喫できます。

今回カヤックを初めて体験してまだ見たことがなかった島の絶景を満喫できました。皆さんにも海からの島の景色をカヤックから見てほしいです。

新型コロナウイルスにより、飲食業や観光業などに大きな影響がでています。そんな中、コロナ対策としてアウトドアが人気に。小豆島ふるさと村でもお客さんの数が一気に減少しましたが、2021年から客足が回復し多くのお客さんが訪れるように。県外からのお客さんが減り、香川県内からのお客さんが増えたそうです。

道の駅・海の駅
小豆島ふるさと村
（キャンプ場・体験・施設などの予約）
〒761-4304 香川県小豆郡小豆島町
室生2084番地1
0879-75-2266

初！お遍路参り

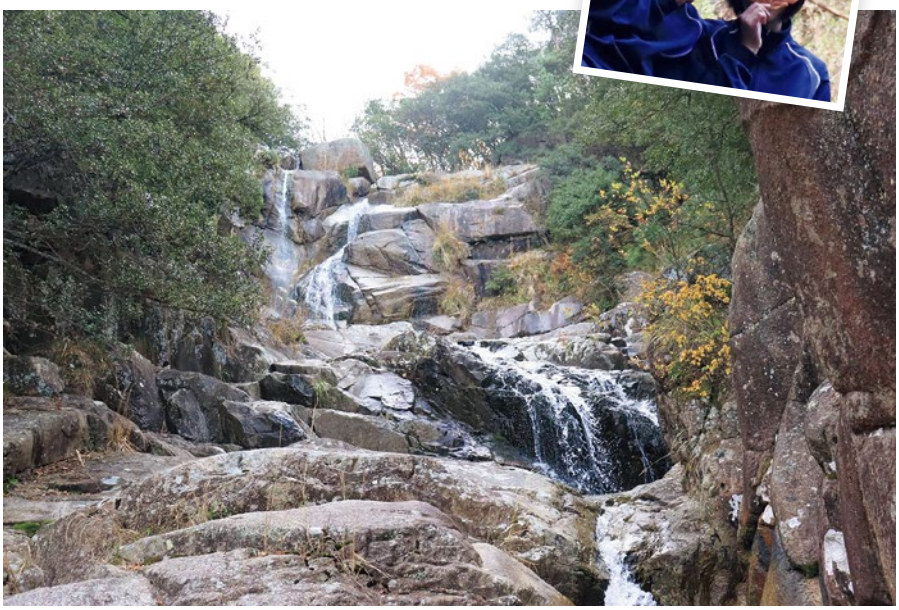
常光寺副住職の大林慈空さんの案内の下、40番保安寺、41番佛谷山、42番西の瀧、35番林庵を参拝しました。遍路道は急で道が分かりにくく大変でしたが、到着するごとに参拝して体を休めることができました。西の瀧からの景色は海の向こうまで見えそうなぐらい広い視界の絶景でした。皆さんも疲れたときに島の景色を見て体を休めてはどうですか？

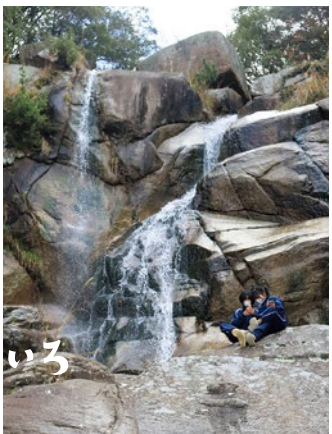
お知らせ

卒業遍路2022開催予定　令和４年3月16日（水）
詳細は、右記のURLで告知を行います。　http://www.aruki-henro.com/category/sotsuhen/

滝

大部地区、大坂城残石記念公園付近の鳴滝と、「ザ・名もなき滝」へ。ガイドの大川大地さんと共に、滝を初体験してきました。ゴツゴツの岩と水、沢を登るとスプラッシュマウンテンのような水の吹き出し口。木の根や落ち葉に足を取られつつ、最後は水切りも楽しみました。
岩のきわきわに座るのはとても怖かったです。滝の上から見下ろす景色は大迫力でとても綺麗。下からの滝を見上げると、また別の見え方も出来ました。





小豆島と自然とヨガ

先日MYON YOGA STUDIO AKASHAにお邪魔しました！スタジオの外には白い砂利が、中には緑の植物やドライフラワーなどが飾られていてヨガをするのにはピッタリの落ち着いた雰囲気でした…！そこで、ヨガのインストラクターの西上桃世さんにお話を伺いました。

ヨガは週一で行うと効果が徐々に出るそう!!更に1ヶ月続けるとより効き目があるとか…！
例）体が軽くなった 腰が痛くない 寝起きがいい など

Q. 生徒さんに人気のヨガはなんですか？
A. 骨盤調整のヨガですね！特に産後の女性などには人気ですね。

Q. 小豆島以外でヨガ教室を開こうとは思わなかったんですか？
A. あまりやろうとは思わなかったですね。両親の影響もあり、小豆島でヨガを広めたいと思いました！

桃世さんから私たちへのメッセージ

他人と自分を比較せず、自分に自信を持って生きてほしいです！そして、ヨガにあまり関わったことの無い学生さんにもヨガを通して自分をコントロールするスキルを身につけることが出来るので、ぜひヨガをやってみてほしいですね！

西上 桃世さん
@myon_fityoglife

両親が10年前に小豆島に移住。
東京で会社員として勤めていたが心身のバランスを崩したことをきっかけにヨガインストラクターとなり2020年夏小豆島に移住する。

憧れの島生活！

27歳の時の結婚を機に小豆島へ移住してきた、ウェブ系エンジニアの大西時雨さん。現在も、東京で行っていた仕事を島でできることはリモートワークで働いています。

日常は、ヤギを飼っており触れ合いながら家族みんなで憧れた島生活を果たし、土庄町滝宮地区に在住され、自然に囲まれながら生活されています。

大人は間違いだらけのなかで生きている生きものだ

大西さんは先輩や親の言うことをきくだけではなく、自分できちんと考えて、間違いを間違いと正せる人になって欲しいと仰っていました。

エンジニアの仕事は場所の制約がないのが長所で技術を磨くと月100万円超えになることがあり、地域による格差が少ない職業とも言えるそうです。皆さんもエンジニアに興味がありませんか？

きれいな海に一目惚れし滝宮に移住

Break Time

ちょっとひといきしませんか？

モンブラン

EAT
イート

昔ながらの四面窓の素敵な造りで、それを活かした内装にこだわっているそうです。お店に入ると広々としていて落ち着いた雰囲気で観光客の方にとても人気です。オールシーズン販売している料理やデザートから期間限定の料理やデザートまでこだわっていてすべてオススメ商品だそうです！！私はEATさんのタルトが大好きです！是非一度立ち寄ってみてはいかがですか？

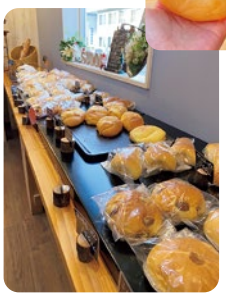
小豆島町苗羽甲1422-1
11:30－17:00（L.O.16:00）
休 毎週木曜日休
0879-82-6170

SCOOP
スコップ

土庄税務署から道路を挟んだ向かい側にあるお店です。
とても気さくな店員さんで話しやすく店内は明るく、かわいくて子供が好きそうなお店の雰囲気でした。
パンの種類は小さな子供が好きそうなかわいいパンから大人も楽しめる幅広いパンの種類で、パンを選ぶのがとても楽しかったです！お子様連れのご家族で立ち寄るのにオススメのパン屋さんです！！
数量に限りがあるのでお早めに…

@scoop.bakery
土庄町甲5945-4
10:00－18:00
休 水・木曜日休
0879-62-0268

明太子フランス



ブーケ

くまぱん

タルトとおやつ 巣箱
SUBACO

アップルパイ

いちごタルト

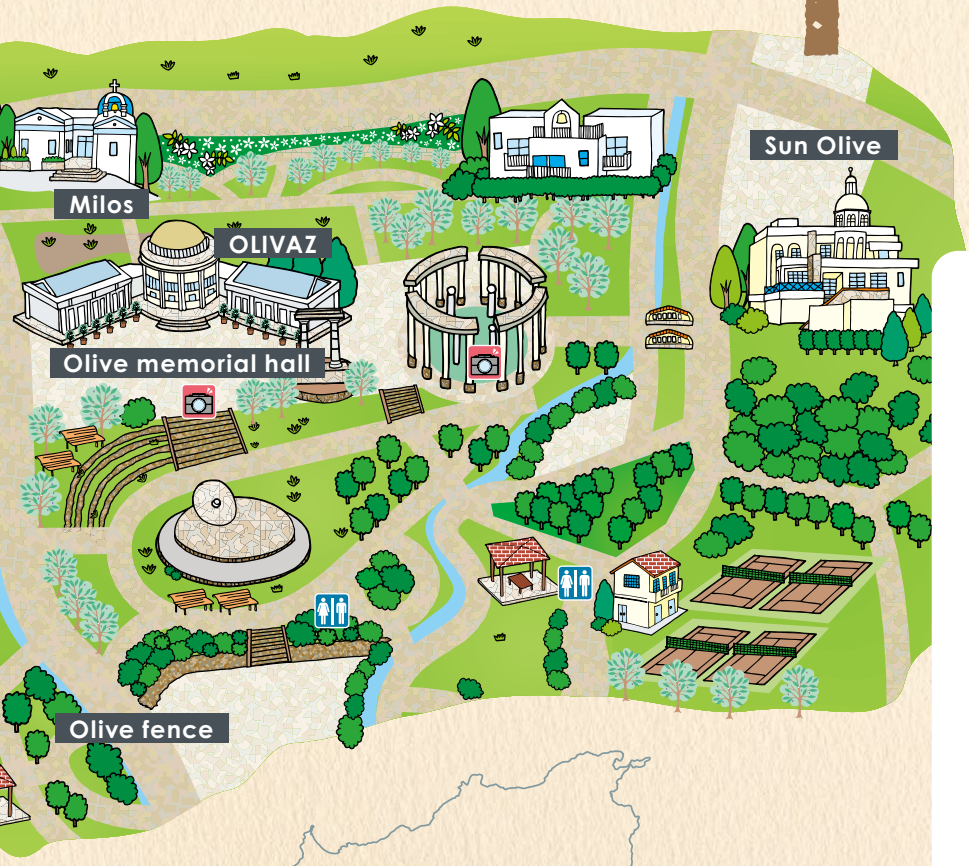
土渕海峡の近くにあるお店です。木や森の自然な感じをイメージした内装にこだわっているそうです！
お店に入るとドライフラワーや木で囲まれていてまるで森の中のお店みたいでした。主に襖小麦を使った素朴な味のするタルトがおすすめ商品だそうです。タルトだけでなく焼き菓子も販売しています。数が限られているので気になる方はお早めにお買い求めください

@subaco.sa.mi.na
土庄町渕崎甲1386-8
[木・金・土] 11:00－17:30
休 日・月・火・水曜日休

Shimamira ESS

Welcome to Shodoshima Olive Park!

私たちはこの秋、オリーブ公園の英語によるガイド体験を行いました。
その説明をもとに、オリーブ公園をご案内します。



Looking for a Happiness Olive Leaf

A heart-shaped leaf that is said to “Be Happy” when you find it and “continue to be happy” if you keep it.
You can also create a memorial book mark for your trip with the “Happiness Olive Leaf” laminated film.

Access

After disembarking at one of the ports, take the bus, a taxi, or a rental car.
If you take the bus, get off at “Olive Koen Guchi”.

Famous souvenir TOP 3

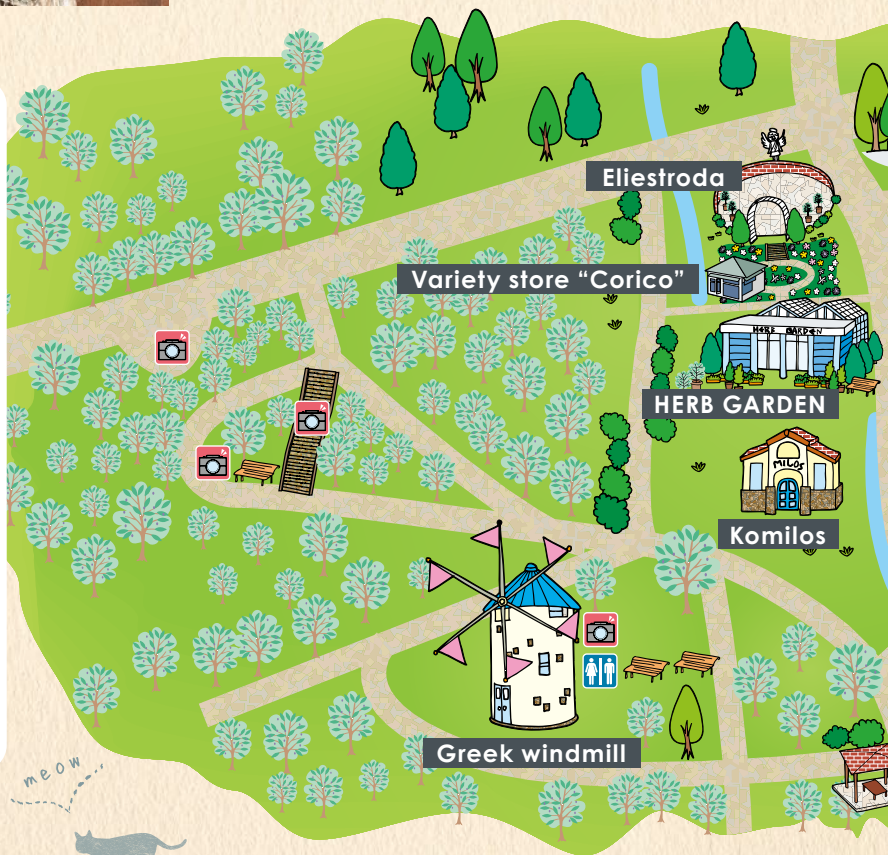
1. Extra virgin olive oil
2. Olive hand cream
3. Olive chocolate

Variety store “Corico”

In the garden, the location set used in the live-action version of “Kiki’s Delivery Service” was relocated and opened as a shop.

Let’s feel the World of the Movie

Shodoshima Olive Park is also famous as the setting for the animated movie “Kiki’s Delivery Service”.
You can borrow a magic broomstick for free from the Olive Memorial Hall, and the park is full of people having fun taking pictures of themselves riding broomsticks just like Kiki.
The area around the Greek style white Windmill is a popular photo spot.



History of Olives

Olives came to Japan about 100 years ago.
Shodoshima is the only island in Japan that has succeeded in growing Olives.
This is because the climate of Shodoshima was suitable for growing Olives.

しまいろ

小豆島中央高校　SDGs Action! #01

大好きな島が あり続けるために 私たちができること

島の課題学習チーム

「どの課題」を調べるかという最初の話し合いで、全員一致で「ごみ」にしようと決めました。島民すべての人が関係する身近なことなのに、ほとんど知らない「ごみ」のこと。今回、半年ほどかけて、各施設の見学や行政担当課の方・施設の方にお話を伺いました。考えさせられるインプットばかりでしたが、最後に私たちなりの提案をしましたので、ぜひお読みください！

調査① 私たちが捨てた"ごみのゆくえ"を調べてみました！

（家庭系一般ごみ）

分別は、ごみを減らす第一歩。

今回、不燃ごみの日の収集作業に同行させてもらいました。地区によって分別ができているところもあれば、不燃ごみなはずなのにペットボトルや缶がたくさん入れられている地区もありました。
本当は資源ごみとしてリサイクルできるはずのものが、島の中にそのまま捨てられていると思うと心が痛みます。

ごみ収集

ごみ回収場所

収集してくれる方への配慮を！

スプレー缶をそのまま捨てていることで爆発・火災が発生し、収集車が何台も故障しているということでした。また、ガラス片、針・刃物、竹串などをそのまま捨てていることが原因で、作業員の方が頻繁にケガをしているそうです。
自分の手から離れたら関係ない、ではなく自分が捨てた後に作業してくれる人のことを考えて捨てないといけないと強く思いました。

家庭から出るごみの種類

可燃ごみ	一般ごみ	
	粗大ごみ	
不燃ごみ	一般ごみ	
	粗大ごみ	
資源ごみ	缶	びん
	ペットボトル	古紙
	発泡トレイ	段ボール
	発泡スチロール	
回収不可	自動車等部品	運搬・処理困難物（耐火金庫、ピアノ等）
	危険・有害物（農薬、廃油等）	

専門業者等に回収依頼

この島を愛している人なら、「ごみが自分の手から離れてからどうなるか？」にも関心を持とう！

基本の3R

+3R

リサイクル（再資源化）、リユース（繰り返し長く使うこと）やリデュース（ごみの発生を少なくする）の「3R」はご存知の方も多いと思います。その他に、リフューズ（ごみの元になるものを買ったり貰ったりしない）、リペア（直して使う）、レンタル（所有せず借りて済むものは借りる）といった考え方も大事です。

青 小豆島町
緑 土庄町

●年間処理量　約1万t（1日約30t）
●施設年間稼働日数　約260日
　ほとんどの日において7~23時まで焼却炉が稼働
●ごみの種類の4割にあたるのが紙や布
●家庭から出したごみの5%が灰となり最終処分場へ

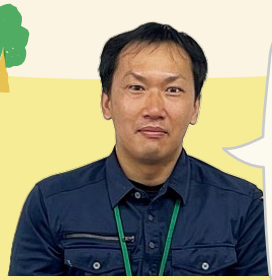
＜課題＞
●人口減だが、ごみの全体量は増。近年は事業系ごみが増加
●包装材等のプラごみが増え、炉を傷める要因のひとつとなっている
●焼却灰の中に金属片や事業用の不燃ごみ等が入っていることも
●可燃ごみの中にはリサイクル可能な「紙」なども多く含まれている

現在の徳本処分場は1995年に完成。満杯となってきたため、2022年度からは容量7.8万立方米（最大拡張で10.3万立方米）の新しい処分場が供用開始される。

現在、土庄町内には最終処分場が無いため、中間選別を経ても再利用できない廃棄物は県内へ搬出、処分。土庄町分の焼却灰は県外へ搬出している。

再資源化処理

電器店など	リサイクル家電（テレビ、エアコン）
専門業者	パソコン、スマートフォン
専門業者	消火器
リサイクル協力店	ボタン電池、充電式電池、リチウムイオン電池
町役場回収ボックス	小型家電



土庄町住民環境課
橋本係長

土庄町は、現在最終処分場が町内に無いことが喫緊の課題です。その反面、町民のごみに対する意識の変化は感じられるようになりました。
不燃ごみは、町内事業所が島外搬出ごみを減らせるようにご協力くださり、大部分のごみが再資源化できています。より一層のごみ削減に取り組んでいきたいと考えています。

小豆島町住民生活課
谷本課長

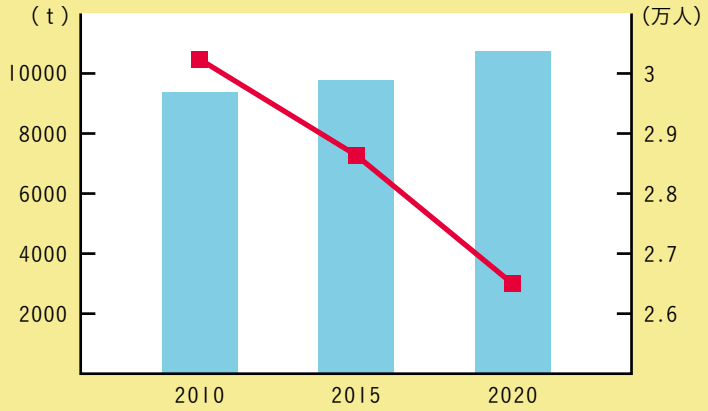
小豆島町では「ごみの減量化」に取り組んでいますが、各家庭でどのように捨てるか（分別など）が、ごみの量にそのまま直結します。
町内に最終処分場がありますが、不燃ごみは中間処理されずにそのまま処分場へ行きますので、一人一人がそういった認識を持ちながらごみについて関心を持ってもらえればと思います。

調査② 小豆郡のごみの現状

島の人口は10年で約5,000人減っているのにごみの量はだんだんと増えている!!

壽 桃花

小豆郡の人口推移と可燃ごみの総量



小豆島と同じぐらいの離島と比較すると…(2020年度比較)

小豆郡(小豆島町・土庄町)	種子島(西之表市・中種子町)
1人あたり 770 (グラム/日)	1人あたり 500 (グラム/日)

(差分270g)

1年で約100kgの差が出る!!

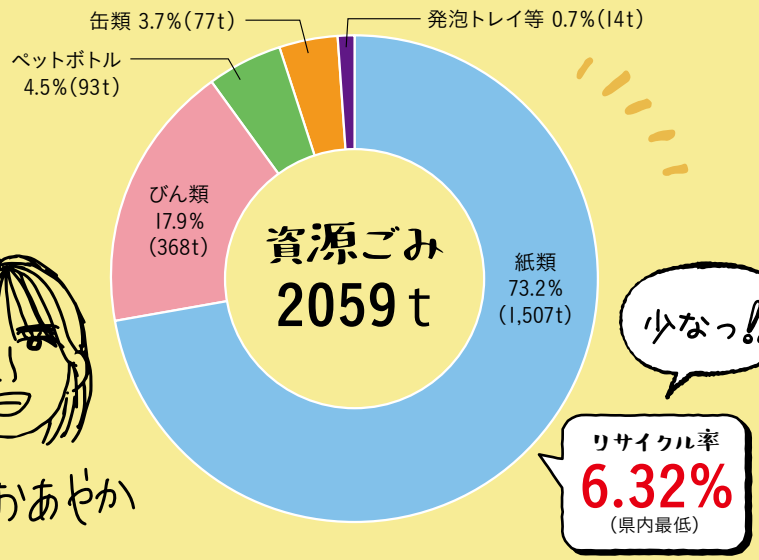
一人ひとりのごみに対する意識が大切になってくるんだね!

森口 怜愛

再利用できる資源がたくさんあるんだから、みんなで分別を頑張ってリサイクル率を上げたい!

たかおあやか

資源ごみの内わけ(2020年度)



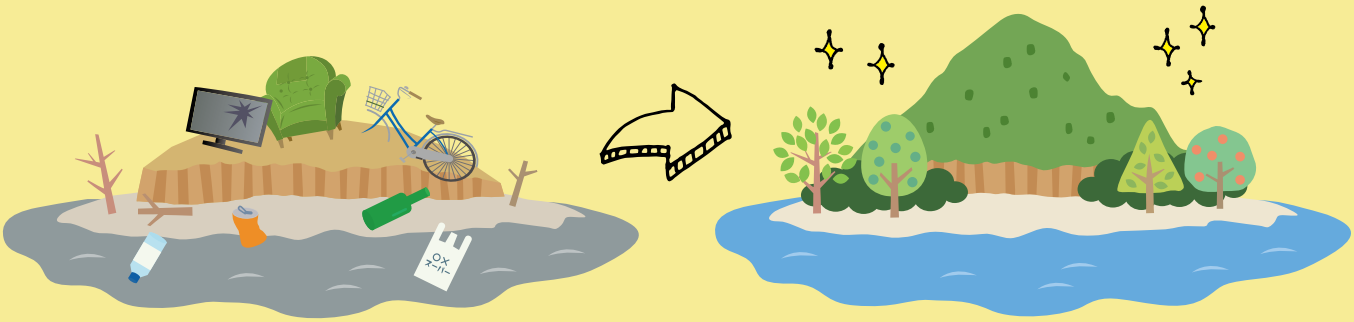
少なっ!!

リサイクル率 6.32% (県内最低)

私たちからの提案

"みんなの島"の未来のために

『ごみを減らそう!!』



今回、ハッと思ったのは「捨てたもの＝“ごみ”」ではなく、見る視点によって価値が無い“ごみ”なのか、リサイクルして活かせる価値のある“資源”なのか、というお話でした。自分が捨てたものがどうなるのか？島の環境に影響を及ぼしていないか、というその先を想像することがとても大事で、「関心」を持ち行動に移せる人が増えると、もっと美しい島になると思います。
小さなことかもしれませんが、私たちに出来る取り組みを考えてみました。私たちも行動していきますので、みなさんにとっても「身近で重要な問題」を考えるきっかけになればとても嬉しいです。

私たちにできること

1 学校でできること

- いらなくなった紙を再利用する！（リサイクル）
  例）封筒にする・ゴミ箱として利用する（新聞紙など）・可愛い包装紙などはブックカバーとして使う・白い余白の部分はメモ用紙として切り取っておく

- 不要な紙を♻資源ゴミとして集める！（リサイクル）
  学校は紙が多いので、学校や家庭の紙を集めるボックスがあれば、多くのリサイクルに回せると思います！

今回は、学校だけでは学べない、身近な問題を体験でき、学生にとってとても良い経験になったと思います。学校としても何ができるのか、考えるきっかけになりました。

くもん先生

2 家でできること

- 資源になるごみを知る！＆紙は資源ごみに（リサイクル）
- 食べ残しを減らす（リデュース、フードロス）
- 不用品は知人に譲ったり、フリマアプリを活用する（リユース）
- 生ゴミは水を切って捨てる（ごみ焼却時間短縮＝CO_2削減）
- “使い捨て”→“長く使えるもの”を選択（リデュース）

長く使えるものの例
洗剤などのボトル　詰め替え
シリコンラップ
マイバッグ　など

まずは、自分がごみを出すことが多い“家”から取り組めることがたくさんあるので、「これ再利用・再資源化できるかな？」という視点を常に持ちたいと思います。

はねみずほ

3 外出先でできること

- マイバッグを持参する（リフューズ）
- マイ箸、マイボトルを持参する（リデュース）
- 買い物するときは本当に今必要なものかどうか考える（リデュース）
- 飲食店では食べられる量を考えて注文する（リデュース、フードロス）

買った物の95%以上が、10年後はごみになるそうです。捨てることも想像して、必要で大切にできるものかを考えて買いたいと思います。

しまいろ

取材協力：小豆島町住民生活課、土庄町住民環境課／小豆島クリーンセンター、小豆島リサイクルセンター／エコプラザ小豆島（赤岩環境センター）、小豆島クリーンサービス、有限会社小豆島

CREATOR TEAM

2021年度のクリエイターteamは、昨年度の経験・反省を踏まえ、
部活動紹介をメインにYouTubeにupしました!!

特に
注目してほしい
部活動を
Pick Up

部活動 CLUB ACTIVITIES

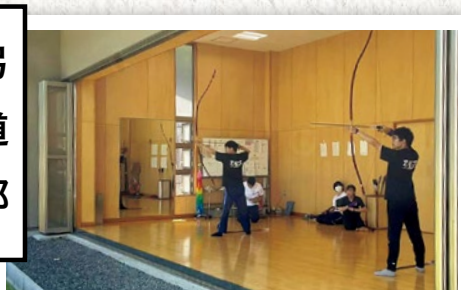
陸上部

小豆島中央高校は陸上部"長距離"の強豪校です。毎年、全国高校駅伝やインターハイに県代表で出場しており、県外からも小豆島中央高校で走りたいと寮が一杯になるほど、たくさんの生徒がやってきています。

太鼓部

太鼓部では小豆島の名産品醤油樽を使った太鼓を叩いています。普通の太鼓に比べて音が高く響きが良いです。音を合わせるのがとても難しいのでたくさん練習をしています!

弓道部



県内でこれほど立派な弓道場があるのは小豆島中央高校くらいなのではないでしょうか。弓道部ではとても部員同士の仲が良く、先輩が後輩の手本になってみっちり教える。時には厳しく時には優しく先輩後輩の良い関係が築けているという印象です。そしてなんと言っても弓道着がかっこいい!「1日○本引く」という個人で目標を決めながら日々練習に取り組んでいます。

応援部

応援部では野球応援や駅伝壮行会、大会などを主に活動しています。簡単な振りから難しい振りの幅広い踊りを練習しています!部員同士の仲も良く、時には真剣に本音を言い合えたりして、先輩後輩との関係があまり上下していないので楽しく活動できてます!

YouTube

高校での生活だけではなく、私たちが普段感じている島の良さや魅力を伝えたい!と思って制作をしています。ぜひご覧ください。

しまみらちゃんねる

文化祭

CULTURAL FESTIVAL

コロナ禍の中、なんとか開催できた文化祭。非公開で行われたため、見たかったのに、行きたかったのに…残念🥺という地域の方々！もう1度文化祭気分を味わいたいという島高生のために特別に文化祭の様子を3つに分けてたっぷりお見せします！

今回はその中の太鼓部の演奏。小豆島の特産品、樽を使った樽ならではの音色、そして綺麗に揃った"舞"をご覧ください。

1・2年生、各クラスが夏休みや放課後を使ってつくった個性溢れる教室展示。子供から大人まで知っているアニメキャラクターが続々登場‼

ギター部の3年生が最後のLIVE‼いま、3年生が伝えたいおもいを歌に込めて。これぞ"青春"『純恋歌』『100万回のI Love You』

クラスマッチ

CLASS MATCH

学期に1回ペースで行うクラスマッチ。他の地域では、球技大会やスポーツ大会などと呼ばれ、呼び方は様々なんだそうです。バレーやサッカー、バスケ、ソフトボールなどの種目を行い、クラスマッチ運営委員や生徒会、先生方が中心となってクラスマッチを企画・運営します。先輩後輩関係なくクラスで競い合うため、他クラス・他学年との交流もでき、クラスの絆が深まる楽しい行事です🥰

活動を終えて

後書十色

あとがきといろ

島の魅力・産業チーム 1年 **宮宇地 由記奈**	実際に「しまいろ」の編集をしてみて、写真のレイアウトや文章の構成を考えるのが難しかったです。でも、作ってみて編集の楽しさが分かりました。
島の魅力・産業チーム 2年 **壷井 恋華**	しまのみらいプロジェクトに参加する中で、小豆島の知らなかった魅力を発見し、改めて小豆島の良さを実感しました。取材をしたり実際に体験したりして、多くの方々と関わることができとても楽しかったです。
島の魅力・産業チーム 2年 **三木 雅子**	取材したり、体験させていただき小豆島の新たな一面を知ることができ、いい経験となりました。住んでいても知らなかったこと、取材した人から学ぶこと、今後にいかせることを知ることができる活動でした。
島の魅力・産業チーム 2年 **若本 夏奈**	今回初めて参加してヨガの取材に行ったり、みんなでどこに行くかを話し合ったり、様々な経験ができてよかったです。取材は初めてだったけれども、直接話を聞いたり見たりしながらの取材はとても新鮮で楽しかったです。
ＥＳＳ（英語表現）チーム 1年 **林　優菜**	英語でオリーブ公園を紹介するということで、実際に外国人の方に向けてガイドをしたり、それを通して原稿を作ったりしました。初めてのことでドキドキしましたが、楽しく、よい経験になりました。たくさんの人に小豆島についての魅力を知ってほしいです。
ＥＳＳ（英語表現）チーム 1年 **長谷川 絢巳**	観光地について英文を考えたり、レイアウトを考えたりなど、初めてのことばかりで大変でしたが、参加することで小豆島の魅力を再発見することができ、とてもよい経験になりました。
ＥＳＳ（英語表現）チーム 2年 **竹田 菜那**	自分で英語の原稿を作り、実際にお客さんに英語でガイドをしました。オリーブ公園について知らなかったことを知れてよい経験になりました。また、英語にたくさん触れることができて楽しかったです。
島の課題学習チーム 2年 **壽　桃花**	私は、小豆島のごみ問題について考えました。このプロジェクトに参加して、町のごみ処理施設の見学や取材など、普段できないことに取り組み、とてもいい経験になりました。小豆島のごみ問題は思っている以上に深刻です。１人1人の今の行動を変え、美しい小豆島にしよう！
島の課題学習チーム 2年 **髙尾 綾香**	実際に現場を見学したり、業者の方にお話を聞いたりして、小豆島のごみ問題がすごく深刻だということが分かりました。１人でも多くの人がごみ問題に関心をもって生活してほしいなと思いました。
島の課題学習チーム 2年 **羽根 瑞穂**	私は今回しまのみらいプロジェクトに参加してごみの分別に対する意識が変わりました。ごみの処理に関わる場所へたくさん行くことができ、とてもよい勉強になりました。たくさんの人に今の島の状況を知ってもらえたらいいなと思っています。
島の魅力・産業チーム 1年 **佐伯 貴弥**	友だちに誘われて入った「しまみら」は、男子がほとんどおらず少し肩身がせまかったです。結構自然に囲まれた環境で生活してきたけど、まだまだ自然を感じて、感動できるほど美しい光景を見ることができてよかったです。
島の魅力・産業チーム 1年 **陶山 なつみ**	私がこの１年間しまのみらいプロジェクトを通して感じたことは、自分が思っていた以上に島の魅力はたくさんあるということです。ここ数年コロナウイルスの影響で伝えられる島の魅力が限られてしまいましたが、自分なりに発見できたと思います。
島の魅力・産業チーム 1年 **柳生 颯愛**	しまのみらいプロジェクトを通して、今までもこれからも知ることも行うこともできないような貴重な体験をすることができ、とても楽しかったです。また、身近だからこそ気づけなかった絶景スポットと出会うことができ、小豆島の魅力を改めて感じることができました。
島の魅力・産業チーム 1年 **頼冨 友梨華**	今年初めて小豆島に来たので、最初は島のことがよくわからない状態でしたが、この活動を通して小豆島のいいところをたくさん知れたのでとてもいい経験になりました。
島の魅力・産業チーム 1年 **林　蔵人**	僕はプロジェクトを通して、まだ知らなかった小豆島の魅力を知ることができました。これからも、たくさんの人に島の魅力を伝えていきたいです。
島の魅力・産業チーム 1年 **九星 心優**	カフェ、滝、カヤックなどのいろんな企画を通してたくさんの人と関わることができ、小豆島の人は本当にあたたかい人ばかりだと気づくことができました。これからもしまのみらいプロジェクトを通してたくさんの人と関わり、企画を楽しんで、島の魅力を発信していきたいです。
島の魅力・産業チーム 1年 **三木 希望**	自分が知らなかった小豆島の絶景・良さを今回たくさん見つけることができ、島の住民としてとても楽しい思い出になりました。活動を通して「小豆島は毎日輝いている」と分かりました。
島の魅力・産業チーム 1年 **炭山 明伽**	島のカフェを取材してみるとそれぞれのお店に工夫や個性があって、とてもワクワクしました。また、カヤック体験をしたり、滝に行ったりして改めて小豆島の自然の豊かさを実感することができました。

しまのみらい プロジェクト 会長 （株式会社DaRETO） **城石 果純**	沢山の方にご協力いただきながら「しまいろ5周年号」を発刊できた事をお礼申し上げます。本プロジェクトを通じた経験がいつか線となり、自らの力で自分の人生を選択し、時に戸惑い悩んでも前に進み続けることができるよう、いつも応援しています。ありがとうございました。
しまのみらい プロジェクト （NPO法人トティエ） **大塚 一歩**	今年度は「ごみ」に関する調査を一緒に行いましたが、私自身が初めて知ることばかりで驚きの連続！今までのような「一方的に教わる」ではなく、一緒に体験し考えるという、新しい学びのスタイルの可能性を感じました。あと、皆さん作業が早くて優秀！大人も頑張らねば…
しまのみらい プロジェクト （社会福祉法人 サンシャイン会） **川西　剛**	クリエイターチームとして動画作成やしまいろの表紙撮影など積極的に取り組むことができました。メンバーの個性あふれるエネルギーをぶつけた結果、素晴らしいコンテンツが作成できました。みんなの想いが溢れるコンテンツがいろんな人に届くように僕も発信します。
しまのみらい プロジェクト （マルシマ印刷株式会社） **島　　啓**	１年を通して活動された生徒の皆さん、本当にお疲れ様でした。自分達で考えた企画をもとに取材・執筆・撮影など、楽しみながら活動していたのを見ると、大変うれしく思いました。これからもチャレンジの気持ちを常に持ちながら、頑張ってください。応援しています。
しまのみらい プロジェクト OGアドバイザー （小豆島町役場） **根本 咲愛野**	活動を終えて、体験することで見つけられる魅力がたくさんあると改めて感じました。海から、陸から、どこからでも楽しめる小豆島。こんなにも素晴らしい場所が自分の故郷であることに誇りを持とうと思います。学生のうちからその魅力に触れることができて、本当に羨ましいです！
小豆島町地域おこし 協力隊 （地域の魅力発信推進員） **大和 美祈**	発信力や行動力を求められている時代に、表現力や自主性を磨く実践の場として最適だと思いました！私も活動を通して小豆島のみらいの為にできることは何なのか？考える中、生徒さんが小豆島へ戻るきっかけや活躍出来る場を作るサポートをしていきたいと、夢が増えました！
小豆島町地域おこし 協力隊 （国際交流支援員） **喰代（ほおじろ） 伸之**	「小豆島の魅力を外国の人にも知ってほしい」。高校生の皆さんの思いを、活動を通じて知ることができました。来年度は瀬戸内国際芸術祭が待っています。皆さんの言葉をより多くの外国人に届けられるよう、地域おこし協力隊として力を尽くしたいと考えています。

島の課題学習 チーム 2年 **森口 怜愛**	今までは小豆島の良いところだけしか見てきていなかったけれど、今回の活動で小豆島が抱えている問題に気付くことができました。ごみ問題を解決するには、誰かに頼るのではなく、一人ひとりのごみに対する意識が大切だということが分かりました。
クリエイター チーム 1年 **岡本 優莉**	クリエイターチームとして、参加できて小豆島の魅力をより知る事ができて楽しかったです。SNSを利用して小豆島の魅力が多くの人に伝わっていると感じ嬉しくなりました。これからもたくさんの人に魅力を伝えていきたいです。
クリエイター チーム 1年 **藤原 若菜**	私は、今回初めてしまのみらいプロジェクトに参加してみて、この小豆島のことを、もっといろんな人に知ってもらいたいと思いました。いろんなことをみんなに紹介することができてよかったです。
クリエイター チーム 1年 **城　愛理**	小豆島や高校の良い所が伝わるように企画や動画を作るのをがんばりました。知っているようで知らないこともたくさんあったので、とてもよい経験になりました。来年も参加したいです。
クリエイター チーム 2年 **兒島 菜々子**	年々、しまみらに参加してくれる人が増え、地域の人だけでなく島高生にもしまみらの魅力が伝わってきていて、参加してよかったなと思いました。自分たちのペースで活動でき、島の大人と関われる、先輩後輩の仲が深まる、島のよさを再発見できる、最高のプロジェクトです☺
クリエイター チーム 2年 **齊心 遥香**	同じチームの子が動画撮影やインタビューをし、またそれを動画編集したりする行動力の高さをすぐ近くで感じられて、そしてそのお手伝いをすることが出来て、とてもやりがいを感じられたし、完成したときはとても嬉しかったです。良い経験になりました。
クリエイター チーム 2年 **下田 颯馬**	僕は、小豆島の豊かな自然や島高の魅力を追求していく活動のなかで島高の生徒代表として小豆島の魅力に触れ、学んだことを発信できて、とてもやりがいを感じることができました。
香川県立 小豆島中央高等学校 校長 **山本 主税**	うちつづく感染症の脅威の中、スタッフのみなさんの創意と工夫で「しまいろ No.5」が広く発刊されたことに感謝します。この誌面や配信などを契機に、メンバーがこの島で得た驚きや感動をたくさんの人が同じように追体験したり、あるいは実体験してもらえることを願っています。
香川県立 小豆島中央高等学校 教頭 **野崎 隆亨**	プロジェクトに参加したみなさん、限られた条件の中で本当によく頑張ってくれました。島の魅力をさらに深め、島の持つポテンシャルに触れることができたのではないでしょうか。この活動をきっかけにして、地元である島とのつながりをこれからも持ち続けてくれることを願っています。
香川県立 小豆島中央高等学校 主幹教諭 **公文　洋**	「しまいろ」を手に取ってくれたあなたに　**感謝** ご協力いただいた皆様のご好意と笑顔に　**感激** 島の未来を真剣に考え、行動する人々に　**感動** ここは高校生も地域のみんなも熱い島です！

しまのみらいプロジェクト：活動趣旨

本活動は、教育、部活動に合わせて第３の価値として、高校生が主体となり、自ら考え、人・地域を巻き込みながら行動し、高校を卒業する前に小豆地域の魅力や地域とのつながりを大切にすることで、進学または就職後の進路に故郷である「小豆島」を選択肢として残してもらうきっかけになることを目的とする。

しまいろ
SHIMAIRO
05 号

香川県立小豆島中央高等学校

発行日：2022 年 3 月
発行者：香川県立小豆島中央高等学校
しまのみらいプロジェクト
印刷・製本　マルシマ印刷株式会社